

令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	198	沖縄らしい風景づくり促進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア				
担当部課名	土木建築部 都市計画・モノレール課	事業実施(予定)年度	H24 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり			
事業内容	①景観に配慮された公共工事を行うため、景観有識者等から意見を聴取するための景観アドバイス会議を開催し、同会議の助言を沖縄県景観評価委員会へ報告する。 ②県民の風景づくりに対する意識向上のため、シンポジウムを開催する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度		
	(a) 当初予算額	26,076	0	14,574		12,825		
	(b) 予算現額	26,076	0	14,574		12,825		
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0		0		
	(d) 前年度繰越額	0	23,519	0		0		
	A. 計(b+d)	26,076	23,519	14,574		12,825		
	B. 執行済額	2,557	21,200	14,224		10,241		
	うち交付金充当額	2,046	16,960	11,379		8,193		
	C. 次年度繰越額	23,519	0	0		0		
	執行率(%) (B/A)	9.8%	90.1%	97.6%		79.9%		
予算の状況の説明	・令和3年度は、景観評価システム、シンポジウムに係る委託料及び旅費等の経費を計上したところであり、景観評価システム及びシンポジウムを実施した。 ・執行率は79.9%であり、主に委託料の執行残が発生したことによるものである。							
活動目標(指標)及び進捗状況	R3活動目標(指標)		進捗状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	①地域の景観向上へ取組をリードする人材育成(県内6地区において、地域景観リーダー、風景づくりサポーターへの実地研修等を実施)	目標	60名(6地区)	350名(6地区)	350名(6地区)	-		
		実績	862名(6地区)	391名(6地区)	-	-		
	②景観に配慮された公共工事を行うため、景観有識者等から意見を聴取するための景観アドバイス会議を開催し、同会議の助言を沖縄県景観評価委員会へ報告(公共工事の実施設計に反映)	目標	本格運用10件	本格運用10件	本格運用10件	本格運用10件		
		実績	本格運用8件	本格運用5件	本格運用8件	本格運用10件		
③県民の風景づくりに対する意識向上に向けたシンポジウム開催(景観有識者による基調講演やパネルディスカッションの実施)	目標		1回	1回	1回			
	実績		1回	-	1回			
進捗状況説明	・地域の景観向上への取組をリードする地域人材育成については、新型コロナウイルスの影響により実施を見送った。 ・道路、河川、公共建築、港湾分野の10件において景観評価システムの運用を実施した。 ・県民の風景づくりに対する意識向上に向けたシンポジウムを1回開催した。							
成果目標(指標)及び達成状況	R3成果目標(指標)		基準値(H24年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R3年度)	
	①取組を実施した地域において、沖縄独特の風景・まちなみ景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証	目標			80%	80%	-	
		実績			99%	-	-	
	②景観アドバイス会議を開催し、同会議の助言を沖縄県景観評価委員会へ報告	目標			開催・報告	開催・報告	開催・報告	
		実績			開催・報告	開催・報告	開催・報告	
	③風景づくりに対する意識向上に向けた景観シンポジウムを開催する(参加者200人以上)	目標		200人	200人	200人	200人	
		実績		362人	166人	-	479人	
	【R3成果目標】							
	①取組を実施した地域において、沖縄独特の風景・まちなみ景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証	目標					80%	
		実績					-	
【R3成果目標】 ②景観アドバイス会議を開催し、同会議の助言を沖縄県景観評価委員会へ報告	目標					開催・報告		
	実績					開催・報告		
【R3成果目標】 ③風景づくりに対する意識向上に向けた景観シンポジウムを開催する(参加者200人以上)	目標					200人		
	実績					479人		
達成状況説明	・人材育成の実施を見送ったため、地域の景観向上への取組に対する満足度アンケートは実施出来なかった。 ・道路、河川、公共建築、港湾分野において景観アドバイス会議を開催し、同会議の助言を沖縄県景観評価委員会へ報告した。 ・県民の風景づくりに対する意識向上に向けたシンポジウムの参加者数は目標を達成した。							

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により、人材育成の取組を実施できなかった。 シンポジウム等の開催に当たっては、新型コロナウイルス感染症に係る各種通知文書等を踏まえた上で、新たな生活様式に対応した適切な開催方法の検討が必要である。 景観評価システムの目的や仕組み等について、県事業担当者の知識の深化が必要であり、景観評価システムの対象事業について、早い段階から事業課と連携する必要がある。また、県内には景観設計の十分な経験及び技術力をもつコンサルタントが少ない状況にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地元市町村及び実施地区と連携の上、地域住民の景観への関心を高めるために長期的な視点から継続した人材育成の取組が必要である。また、コロナ禍における人材育成の取組方法について検討が必要である。 景観に対する県民意識の向上に効果的な広報啓発に向けて、シンポジウム等の複数回の開催やインターネット配信等、適切な開催方法の検討が必要である。 景観評価システムの円滑な運用に向けて、定期的な部内周知や事業化との情報共有等の連携強化に加え、景観アドバイス会議や実務研修の開催による県事業担当者や県内コンサルタントの技術力向上が必要である。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の景観への関心を高めるため、地元市町村及び実施地区と連携を図りながら、各地区でコロナ禍でも取組可能な景観形成に向けた活動やワークショップ等を開催し、地域景観協議会設立に向け引き続き取り組んでいく。 シンポジウム等については、適切な開催方法を決定するとともに、来場者に加えネット配信閲覧者等も含めた集計を実施する。 景観評価システムの円滑な運用に向けて、引き続き、景観検討の前年度から事業課等との連携強化を図る。また、実務を通じて県事業担当者や県内コンサルタントの技術力向上を図るため、引き続き、有識者を交えた景観アドバイス会議等を開催する。加えて景観評価システムに係る実務的な研修等の実施に継続して取り組む。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
10,241	10,241	8,193	2,048	0	0	0
<pre> graph LR A[沖縄県 交付対象 事業費 10,241千円] -- 委託料 10,241千円 --> B[株式会社 中央建設 コンサルタント 7,645千円] A -- 委託料 10,241千円 --> C[丸正印刷 株式会社 2,596千円] B --- D["(令和3年度沖縄県景観評価 システム運用支援業務)"] C --- E["(令和3年度風景づくりに係る シンポジウム運営等業務)"] </pre>						
資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目				評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。				○景観評価システム運用支援業務の受託者については、業務実績や実施体制等を勘案したうえで、一般競争入札により選定し、シンポジウム運営等業務の受託者については、公募型プロポーザル方式により企画提案内容、実施体制、実績等を勘案した上でそれぞれ選定しており、妥当であったと考える。 ○費目、使途については、事業目的達成の観点から必要なものを実施し、完了後の検査を実施することで、支出内容の確認を行っている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。				
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。				
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					

令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	190	沖縄フラワークリエイション事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-イ			
担当部課名	土木建築部道路管理課	事業実施(予定)年度	H 24 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	花と緑あふれる県土の形成 Ⅲ-1-(1)			
事業内容	観光地への主要アクセス道路等について、花と緑のある良好な空間を創出し、道路景観の向上を図るため、花木(プランター)の設置や、植樹樹への植栽を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】			R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	374,206		424,000		370,993	
		(b) 予算現額	374,206		424,000		370,993	
		(c) 増減額(b-a)	0		0		0	
		(d) 前年度繰越額						
		A. 計(b+d)	374,206		424,000		370,993	
	B. 執行済額		374,195		423,881		370,844	
	うち交付金充当額		299,356		339,105		296,675	
	C. 次年度繰越額		0		0		0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%		100.0%		100.0%	
予算の状況の説明		・執行率は100.0%であり、計画的に執行できた。						
活動目標(指標)及び進捗状況	R3活動目標(指標)		進捗状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	花の飾花・環境整備(県道39号線、41路線)		目標	41路線	41路線	41路線	41路線	
			実績	41路線	41路線	41路線	41路線	
進捗状況説明	・令和3年度は、目標の41路線に対してコンテナの飾花等の植栽管理業務を委託する形で事業を実施した。							
成果目標(指標)及び達成状況	R3成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(〇〇年度)	
	観光地への主要道路としてふさわしい道路景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する		目標	—	80%	80%	80%	80%
			実績	—	85%	96%	91%	
	達成状況説明	・令和3年度は目標41路線において全て実施する事ができ、観光地への主要道路としてふさわしい道路景観であると感じるアンケートにおいて目標を達成することが出来た。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・定期的なパトロール等により生育・開花の状況を継続的に確認し、植栽箇所の環境条件に応じた適切な花木や草花を各季節で開花できるように選定や管理方法、育成点検、灌水手法について検証し、各土木事務所や造園業者と連携して改善策を検討しながら、品質確保と向上を図る。</p> <p>・道路ボランティア団体への支援・普及啓発により、住民と行政の協働による「美しい道路環境づくり」を推進する。</p>	<p>・定期的なパトロール等を実施し、草花等の育成管理を年間通じて実施した。また、季節や植栽箇所の状況等に応じ、草花や花木を選定し、植物が良好な状態を保てるよう灌水などの対応を取った。また、造園業者と意見交換会を実施し、品質の向上に努めた。</p> <p>・道路ボランティアの支援と普及に努め、前年度の490団体から、540団体まで増加させることができた。また、民間資金を活用したボランティア制度について検討を行った。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・定期的なパトロール等により生育・開花の状況を継続的に確認し、植栽箇所の環境条件に応じた適切な花木や草花を各季節で開花できるように選定や管理方法、育成点検、灌水手法について検証し、各土木事務所や造園業者と連携して改善策を検討しながら、品質確保と向上を図る。</p> <p>・道路ボランティア団体への支援・普及啓発により、住民と行政の協働による「美しい道路環境づくり」を推進する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費						
							370,844	370,844	296,675	74,169	0	0
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;"> <p>沖縄県 交付対象事業費 370,844千円</p> </td> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td> <p>委託料 370,844千円</p> </td> <td>→</td> <td></td> </tr> </table>							<p>沖縄県 交付対象事業費 370,844千円</p>			<p>委託料 370,844千円</p>	→	
<p>沖縄県 交付対象事業費 370,844千円</p>												
<p>委託料 370,844千円</p>	→											
支出先	契約業務名及び業務概要	支出額(千円) ※事業費ベース	うち交付金充当額	入札者数	落札率							
1 (有) 大和緑建	契約業務名 北部管内フラワークリエイション(R3-1) 業務概要 植栽管理業務	25,970	20,776	3社 随意契約	97.0%							
2 (有) 仲本造園土木	契約業務名 北部管内フラワークリエイション(R3-2) 業務概要 植栽管理業務	17,916	14,333	8社 (指名競争)	98.1%							
3 (有) 名護緑化センター	契約業務名 北部管内フラワークリエイション(R3-3) 業務概要 植栽管理業務	17,554	14,043	5社 (指名競争)	96.3%							
4 社会福祉法人 豊饒会	契約業務名 北部管内フラワークリエイション(R3-4) 業務概要 植栽管理業務	6,425	5,140	1社 随意契約	97.8%							
5 (有) 桂植木	契約業務名 中部管内道路修景業務委託(R3-1) 業務概要 植栽管理業務	35,043	28,034	4社 (指名競争)	88.0%							
6 金城グリーン(株)	契約業務名 中部管内道路修景業務委託(R3-2) 業務概要 植栽管理業務	31,055	24,844	5社 (指名競争)	88.0%							
7 平宮産業(株)	契約業務名 中部管内道路修景業務委託(R3-3) 業務概要 植栽管理業務	37,895	30,316	3社 (指名競争)	88.3%							
8 一般財団法人 沖縄県セルブセンター	契約業務名 南部管内フラワークリエイション(R3-1) 業務概要 植栽管理業務	12,024	9,619	1社 随意契約	100.0%							
9 (株) 紅樹	契約業務名 南部管内フラワークリエイション(R3-2) 業務概要 植栽管理業務	26,727	21,382	1社 (一般競争)	89.5%							
10 (株) 諸見里造園土木	契約業務名 南部管内フラワークリエイション(R3-3) 業務概要 植栽管理業務	26,745	21,396	4社 (一般競争)	88.0%							
11 (有) グリーンアルファ	契約業務名 南部管内フラワークリエイション(R3-4) 業務概要 植栽管理業務	26,503	21,202	3社 (一般競争)	88.4%							
12 社会福祉法人 みやこ福祉会	契約業務名 宮古管内道路修景業務委託(R3-1) 業務概要 植栽管理業務	3,993	3,195	1社 随意契約	98.1%							
13 (株) 樹榮	契約業務名 宮古管内道路修景業務委託(R3-2) 業務概要 植栽管理業務	18,802	15,042	6社 (指名競争)	87.8%							
14 (有) 大森開発	契約業務名 宮古管内道路修景業務委託(R3-3) 業務概要 植栽管理業務	15,200	12,160	3社 (指名競争)	87.7%							
15 (有) 平和建設	契約業務名 石垣島管内道路修景業務委託(R3-1) 業務概要 植栽管理業務	16,423	13,138	7社 (指名競争)	87.5%							
16 (有) 大地造園	契約業務名 石垣島管内道路修景業務委託(R3-2) 業務概要 植栽管理業務	18,865	15,092	9社 (指名競争)	87.5%							
17 龍生造園	契約業務名 石垣島管内道路修景業務委託(R3-3) 業務概要 植栽管理業務	17,931	14,345	8社 (指名競争)	87.5%							
18 (株) ガーデン・なみき	契約業務名 石垣島管内道路修景業務委託(R3-4) 業務概要 植栽管理業務	15,773	12,618	6社 (指名競争)	87.0%							
資金の流れ、費目・評価	点検項目	評価に関する説明										
○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により実績を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。										
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	なお、随意契約による業務は、シルバー人材等の活用のによるもので、軽易な業務となっている。										
○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から適正であった。										
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。											